

## 京奈和自動車道 紀の川 I C 路面変状対策検討委員会（第 1 回） 議事概要

- 1 日 時 : 令和 6 年 2 月 2 9 日 (木) 1 3 : 0 0 ~
- 2 場 所 : 国土交通省近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 5 階会議室
- 3 出席者 :
- |     |                           |       |
|-----|---------------------------|-------|
| 座 長 | 京都大学 名誉教授                 | 大西 有三 |
| 委 員 | 和歌山工業高等専門学校<br>環境都市工学科 教授 | 林 和幸  |
| 委 員 | 和歌山河川国道事務所長               | 奥野 真章 |
| 委 員 | 近畿地方整備局道路部道路情報管理官         | 南 知之  |
| 委 員 | 近畿地方整備局近畿道路メンテナンスセンター長    | 青山 淳  |

### 4 議 事

- (1) 委員会の設立について
- (2) 変状発生から現在の状況
- (3) 調査結果と変状機構
- (4) 対策工法について
- (5) 今後の対応について

### 5 議事概要

#### ○事象の原因について

紀の川 I C 周辺は地形的条件等から紀の川 I C 盛土内に地下水が集積しやすい形状のため、5号補強土壁背面には透水能力のある盛土材を使用していたが、長い期間をかけ紀の川 I C 盛土内の地下水位が繰り返し変化したことにより、盛土材の細粒分が多くなり透水能力の低下が確認された。こうした盛土材の変化が原因となり、隣接する池の水位低下時に盛土内の地下水位が追従できず、盛土内に残った水の水圧と盛土の土圧が許容応力を超過したため、盛土全体に変状が生じ、路面に亀裂が発生したと考察される。

#### ○対策方針について

紀の川 I C 周辺の地域経済への影響や地元皆様の利便性を踏まえ、紀の川 I C の早期解放が可能となるように、次の対策について詳細な検討をすること。

- ・ステップ 1 紀の川 I C ランプ盛土部を軽量化し交通開放
- ・ステップ 2 恒久対策として地すべりを抑止するための押え盛土工法等

#### ○今後について

本委員会の検討結果を踏まえ、詳細な設計を進める。